

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホームを統括する「担当課」が掲げるミッション(使命)は、職員に十分に浸透している。明確な目標を定めて、利用者、家族の満足度の更なる向上を目指して欲しい	理念・ミッションを更に浸透させQOLの向上に向けて取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、ミッションの周知 ・個々のニーズ、課題をアセスメントしプランを立て取り組む ・各ユニット毎に理念に向かうための目標を立てる 	3 か月
2	10	利用者主体の支援である「個別ケア」の推進のためにも、利用者の思いや意向の変化に着目した介護計画の見直しを期待したい	その人らしさや願い、思い残しのない人生を送っていただけるためのプランを作成しケアを実践していく	<ul style="list-style-type: none"> ・願い、希望、想いをしっかりアセスメントしカンファレンスにて共有を行う ・2週間後に評価を行う 	12 か月
3	16	「排泄自立」は、利用者がヒトとしての尊厳を保持することに関して、大きな意味合いを持つ。排泄自立に向けた取り組みが有効に推移することを見守りたい	排泄の自立に向けて個別の支援を行っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄の時間、間隔をアセスメントし排泄自立のケアに取り組む 	6 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。